

木組みを利用した現代風神棚の提案

Proposal of modern-style god shelf using wooden frames

家具・インテリアデザイン研究室

佐々木彩佳

指導教員 坂元愛史

1) サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科

キーワード：神棚、木組み、現代

1. 研究背景と目的

筆者の自宅には神棚がない。10年間にはあったはずだが、いつの間にかなくなっていた。調べてみると、現代は神棚を祀る家が少なくなっているらしい。神棚にはお札やお守りを置く場所という使い方もあるようだが、今はいったいどこに置かれているのだろうか。一方日本では未だに何かしら神道に根ざした観念を持つ人が多くいるよう思える。

そこで、現代における神棚の在り方を考察し、今を生きる私たちの暮らしに即した新しい神棚を製作提案することとした。

2. 調査

2-1. 神棚の基本的な情報の収集

・神具の置き方

榊立を外の両側、そのすぐ内側に瓶子、米を中心いて置いて、向かって右側に皿に入れた塩、左側に水器に入れた水を置く

・設置場所

家族が集まりやすい場所に設置する。リビング、ダイニングがふさわしい。できるだけ明るく清潔な場所の最上階の天井近くに南向きまたは東向きに設置するのがよい。最上階への設置が困難な場合は「靈板」や半紙に「雲」の文字を書いたものを天井に貼り付けることも可能。またやむを得ずタンスなどの上に祀る場合は、白い布か白い紙を敷いて神札を置くのがふさわしい

・設置できない場所

トイレと背中合わせになる場所や人の出入りが激しい扉の上などは避けなければいけない。

同じ部屋で神棚と仏壇の向かい合わせの設置は好ましくない。

2-2. 現代における神棚の使い方を把握

インスタグラムを利用し#神棚で画像検索



- ・お札が一～二枚程度祀れること
- ・装飾が少なく、色彩も抑え気味のモダンな造形を持つこと
- ・上記の条件を満たしつつ、制作には伝統的な技法が用いられていること（木組み等）

5. 今後の展開

- ・デザインスケッチを書き進める
- ・木組みパターンの検討
- ・神棚の試作と検証

参考文献

- ・加藤三恵子他（2016）『幸せを呼ぶ日本の神様』
桜出版社
- ・静岡木工「神棚の祀り方」
<http://www/shizuokamokko.com/howto/265.html>



3. 分析と考察

- ・大きさや形、素材は一定していない
- ・会社、事務所は社を大きくする傾向がある
- ・戸建て、注文住宅、昔からある古い家などでは神棚が残っている場合が多いのに対して、マンションでは祀っていないところが多い
- ・家に祀る神棚は比較的シンプルで、お札のみ飾るような簡易的な神棚にする傾向がある
- ・飾り棚と同じ感覚で神棚を祀る例が見られる

4. 提案品の想定

調査結果と分析から、マンション暮らしでも使いやすい神棚というニーズがあると考えた。

そこで条件として次のような内容を想定した。

- ・現在の暮らしの場に置いても違和感や圧迫感のないものであること
- ・小ぶりであること